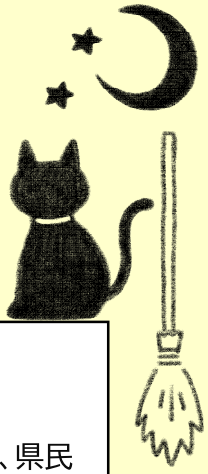
高校生スキルアップ UP
HIGH SCHOOL STUDENT SKILL IMPROVEMENT PROGRAM
NEWS!

100単位達成者インタビュー特集号

◎高校生スキルアッププログラムを活用して、あおもり県民カレッジによる認定証（100単位毎に発行）を達成した高校生にインタビューを行いました。



学校外での活動で、貴重な経験がたくさんできたので、楽しかったです！



にほんやなぎ　だいし
大湊高等学校 3年　二本柳　大志　さん

令和8年8月20日に、102単位を達成して、県民カレッジ認定証を取得しました。
100単位以上を達成した高校生は、二本柳さんで11人目の快挙です。

― 高校生スキルアッププログラムに参加したきっかけは？

高校入学してすぐ、進路指導室の先生からスキルアップを紹介され、進路活動に繋がると聞きました。中学生の頃から参加していた、地域での活動や下北ジオパークの清掃ボランティアなども認定されると知り、試しにレポートを書いてみたっていうのが最初ですね。

― 部活には入っていますか？

吹奏楽部です。



ジオパークは「ジオ（大地）」＋「パーク（公園）」！
地質や地形等、地球の歴史や、豊かな自然と共に生きる人々の暮らし・文化を体感できるスポット。
全18のエリアが、下北半島全体に分布しているよ～

― 忙しい中で、どうやって活動を継続してきましたか?

土日の予定をあらかじめ把握して、そのぶん平日にたくさん練習したり、あとは本当に外せない予定があった日は、さすがに参加せずにという形で、バランスを取りながら続けてきました。あとは、休日に家にいるよりも、外に出てこういう活動に参加した方が、私は好きだったので。

― 100単位を目指したきっかけは？

2年生の夏に認定証を獲得でき、あと1年あれば100単位まで届きそうと思っていたちょうどその時期に、大湊高校の先輩が100単位を達成して、今までで7人目の達成者になったんです。今までで7人って考えたらすごいことだな、自分も挑戦したいなと思って目指しました。

― ３年かけて100単位を達成した時の気持ちはどうでしたか？

ついに100単位いったなっていう、達成感が大きかったです。やっぱり3年生になってくると、活動の範囲が限られるというか、進路活動に忙しくなるので、残り5、6単位がなかなか貯められず苦労しました。1、2年生のうちからコツコツ進めるのがよいと思います。



ーどういった活動に参加していましたか。

主に、「下北BOUSAIネットワーク」（※下北管内の県立学校による協同プログラムで、防災に関する県外研修や新しい防災学習・教材作り、防災体験企画、幼稚園や小中学校での防災出前授業などに取り組んでいる。）に1年生から積極的に参加していました。

例えば、東京電力の福島第一原発という、ニュースでしか見たことのない建物の中に入れて、しかも爆発した原子炉を間近で見るという、参加しないと得られない経験ができました。

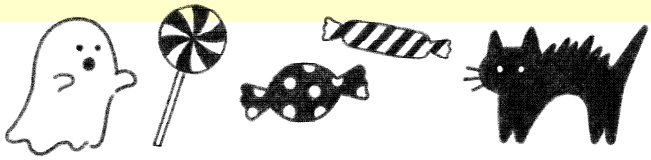
あとは、高校入学前から続けてきた地域での活動です。川内の地域団体に所属し、広報担当としてSNSを運営したり、下北でジオパークの全国大会があった時のPR動画を作成したりしました。

写真（上）：これまでの活動を振り返りながら話していただきました。

活動する中で地域の実情に触れることが多く、人口減少等の課題を自分の身でも感じていて、少しでも地域活性化というか、なんとかできないかという思いでいろいろな活動に参加してきました。

やっぱり災害時こそ地域の力が必要になると感じていて、その繋がりというのは、いきなりできるものではないので、日常的な繋がりや、地域住民同士の繋がりを作る、そういう目的もあって地域活動を続けています。

これまで続けてきた色々な活動がスキルアップの単位としても認められてよかったです。

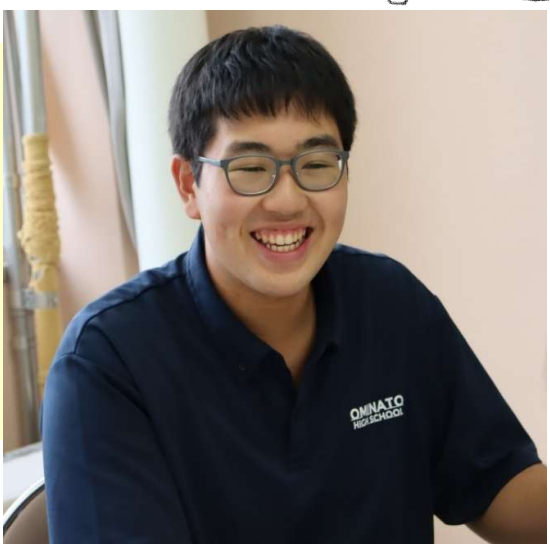




ー 将来なりたいものが見つかりましたか？

元々、地方公務員になりたいと思っていましたが、活動の中でも、市役所の方や県の方と関わる機会が多くて。例えばフィールドワークでは、お金や知識面での問題解決にいろいろ役立ってくれたというか、支援してくれたので、私も今度そういう立場になりたいです。

例えば、地域活性化のための団体を支援するための体制を作り上げたりとか、あとはアクティブに活動する高校生を支援したりしたいです。



ー スキルアップに取り組んでいる仲間や、これから始める高校生へ一言お願いします！

学校外での活動に参加することで、普通に暮らしていたらできない経験を多く得られて、それが楽しかったり、面白かったり、特別感があったと思っています。

ぜひ、自分の興味があることや、外に出るチャンスが回ってきたら、とにかく1回1歩踏み出してみてほしいと思います。

二本柳さん、インタビューにご協力いただきありがとうございました！

（令和8年10月1日　育成研修課取材）